



松浦さんは2年生と
2人の中学生の父親

伝つたのですが、その時集
まつた6人の父親で「地域
のパトロールをしよう」と
盛り上がつて。
●会を活発なものにするた
め心掛けていることは。
松浦 「できる人が、できる
ことを、できる時にやる」と
いうこと。会には規約がな
く、児童の父親全員がメン
バーです。無理なく気楽に
活動できるのが何より。父
親同士が仲良くなると参加
しやすくなるので、遊びか
ら入るのもありだと思いま
す。

松浦 活動を通じて知り合った皆さんの子育てに対する前向きな姿勢に影響され、親としての自覚が強くなりました。

柳沢 家族との共通の話題が増えたせいか、家でもよく話すようになりました。家族は「すごく明るくなつた」と。いろんなお父さんたちと知り合えたのも収穫ですね。

おやじバンドの存在意義についてのお考えを。

お一人のお話から、和氣あいあいとした活動の様子が伝わってきました。
バンドや野球、イベン
トなどで間口を広げて
いることが、気軽に参加
を進めているようです。
楽しく無理のない活
動を通じて仲間や家族、
地域とのコミュニケー
ションを深めているお
やじの会の在り方は、ほ
かの地域活動の参考に
もなるかもしれません。

編集に参加して

テーマ選定をはじめ、企画、取材、レイアウト、校正と、一連の編集作業に参加したモニターの皆さんのお話を紹介します。

- ◆ いろいろな意見を聞くことができて勉強になりました。また機会があれば参加してみたいです。(柿崎里佳さん)
 - ◆ 広報誌の「ウラ」を知ることができました。今後の広報誌にも期待しています。(野口美幸さん)
 - ◆ 初めての取材は財産になりました。また機会があればいろいろなことに挑戦したいです。(藤田直美さん)
 - ◆ テーマ選定から最終校正まで、取材内容を最大限生かすための打ち合わせは、特に参考になりました。広報誌を身近に感じるようになりました。(本田忠男さん)
 - ◆ 取材や編集会議に参加できて、とても楽しかったし、貴重な経験でした。区民の声が実際に記事になるのは、とても意義があることではないでしょうか。(松原宏実さん)
 - ◆ 編集のための会合はとても新鮮でした。取材に参加した経験は、地域のまちづくりに生かしていく。広報を新しい視点で見直す契機になりました。(宮田敬三さん)
 - ◆ 初めてお会いする方ばかりで、参加できて良かったです。白石区のことをもっと知りたくなりました。(締谷隆さん)

三 インタビュー

おやじの会について、代表の柳沢さんと、会ができるた当時からのメンバーでPTA会長の松浦さんに伺いました。



柳沢さんは2年生と
5年生の父親

柳沢 父親自身が楽しむことにですね。私がおやじの会の活動に積極的になつたきっかけは、会の野球部なんですよ。義理の弟が在籍していて、自分も「体を動かしたい」と思つていたところだったので、入つてみようと。そのうち会の活動にはまつてしましました。

会での活動を始めて変わったことは。

松浦 こういった活動は、楽しむことから始めるのがいいと思っています。私たちが会を立ち上げたのも、「奥さんや子どもたちも一緒にみんなでワイワイやろう」という気持ちが原点。楽しんで、仲良くなつて、活動を広げていくというのが良いのではないかでしょうか。

お母さんたちの協力は不可欠だと思います。お母さん同士が仲良くなつてくれるといふやじの会の活動もすごくスムーズですよ。

これが 活動成功のカギ

- ・無理せず気楽に
 - ・お互い強制しない
 - ・とにかく楽しむ！

